



もとみや

# 議会だより

第30号

平成25年7月発行



本宮第二保育所七夕飾り

## 議案審議

国民健康保険税 前年度対比2.63%引き上げ ..... P.2

一般会計補正予算 ..... P.3

常任委員会審査 ..... P.4~5

特別委員会審査 ..... P.6

## 議会活動報告

上尾市議会との合同研修会を実施 ..... P.7

議決結果一覧表 ..... P.8

本議会での討論 ..... P.9

一般質問 市政を問う 14人が登壇 ..... P.10~17

声 議会傍聴感想 ..... P.18

# 一般会計補正予算など 14議案を可決

# 6月 定例会

6月定例会（第4回本宮市議会定例会）は、条例の制定や一般会計補正予算など14議案と報告6件が提出され、すべて原案通り可決されました。

議案審議の内容は、2ページから3ページに詳しく掲載しています。

## 国民健康保険税 前年度対比2.63%の引き上げ

国民健康保険の税改正			
	項目	H25	H24
応能	医療給付費	5.56%	4.43%
	所得割 後期高齢者支援金	2.89%	4.05%
	介護納付金	2.28%	2.95%
	医療給付費	11.00%	11.00%
	資産割 後期高齢者支援金	—	—
	介護納付金	—	—
応益	医療給付費	20,400円	15,300円
	均等割 後期高齢者支援金	9,000円	10,700円
	介護納付金	9,900円	13,000円
	医療給付費	17,200円	15,700円
	平等割 後期高齢者支援金	7,300円	8,800円
	介護納付金	5,600円	8,700円

国民健康保険加入者の高齢化による医療費の増加で、国民健康保険を運営するために必要な税総額が年々上昇しており、被保険者（国保加入者）の負担増は避ける事ができない状況です。

しかし、地域経済の停滞や低所得者層の増加などの状況を考慮し、本来は、税率改定基本方針に

に基づき一人当たり税率の伸び率を5%程度とするところですが、今年度は負担額を極力抑えるため、伸び率を2.63%としました。

### 一般会計からの追加繰入れ

採決の結果、国民健康保険条例の一部改正は20対2の賛成者多数で、国民健康保険特別会計補正予算は全会一致で、可決されました。

一人あたりの負担額を抑制

から3,000万円を繰入れすることが決定していましたが、さらに補正予算で2億700万円の追加繰入れを行います。

# 一般会計補正予算

子ども達の成長に  
欠かせない砂場遊びを



▲スマイルキッズパークに屋内砂場を整備

平成25年度本宮市一般会計補正予算（第2号）を可決しました。これにより、歳入歳出予算のそれぞれに3億6,414万7千円増額し、総額を192億3,898万4千円としました。

- 補正の主な内容は、
- ・ 集会所の建設改修に対する助成
  - ・ スマイルキッズパーク屋内砂場用砂の購入費用
  - ・ 道路等の除染用車両4台の購入費用
  - ・ 白沢中学校北及び中学校舎トイレ洋式化工事費用
  - ・ 長屋地区仮置き場の建設のため、その場を一時保管していた農業系廃棄物を一時移転する農業系汚染廃棄物処理委託料
- などを計上したものです。

## 県産農林水産物 PR 支援事業補助金 トップセールスなどに活用



▲浅草寺（東京都台東区）で本市特産物をPR

風評被害払しょくへ 食の安全・安心をPR

**説明** 福島県の全自治体を対象に、独自の風評被害対策に使用可能な補助金である。

**問** 市町村への県産農林水産物PR支援事業補助金はどのように活用するのか。

**答** トップセールスや各種販売会への参加、本市の農産物の安全・安心をPRする事業などに活用していく。

**問** 外に向かって宣伝することも大事だが、地元産の農産物を地元で安心して食べていただくため、PRにも力を入れてもらいたいと考えは。

**答** 食の交流会等の機会を設けて安全性を訴えていく必要がある。また、復興の集いなどを通して安全性を発信していく。

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、一般会計補正予算（第2号）ほか1件の議案が付託されました。  
主な審議内容は、次のとおりです。



▲現地調査 「本宮第一中学校連絡通路」

### 一般会計補正予算

### 友好都市締結式の規模は

**説明** 7月31日に予定している上尾市との友好都市協定締結式の費用を計上した。

**問** 友好都市協定締結式の規模は。

**答** 両市あわせて360名程度が参加する見込みで、本市の出席者は、議

員をはじめ、各種団体の代表者や上尾市と交流のあるスポーツ少年団の指導者などを予定している。

### 洋式化整備率は

**説明** 白沢中学校校舎耐震補強改修工事にあわせて、北校舎及び中校舎のトイレの洋式化工事費を増額補正する。

**問** 工事施行後の白沢中学校のトイレ洋式化整備率は。

**答** 白沢中学校の校舎内のトイレはすべて洋式化される。

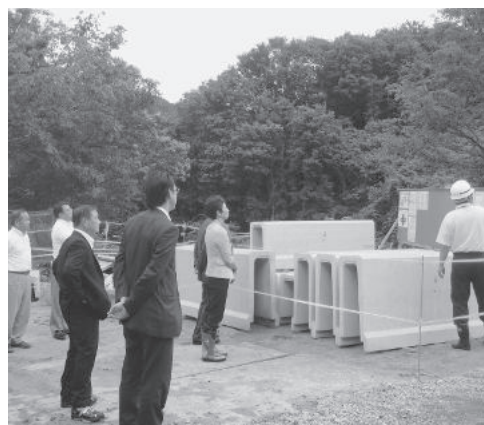
### 子どもの震災ストレスの解消を

**説明** 国の復興教育支援事業委託金等を活用した、震災ストレス解消事業やキャリア教育推進事業を実施し、子どもの震災ストレス解消や生きる力の育成を図る。

## 生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についてのほか議案8件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲現地調査 「和田地区仮置き場」

### 国民健康保険税条例の一部改正

### 税率調整の内容は

**説明** 国保税率改正は、加入者の高齢化による医療費の増加や、被保険者の減少等により、一人当たりの負担が増えており、本来なら税率改定基本方針に基づき、一人当たりの税額で5%以内の伸びとするとところだが、一人当たりの税額を102,833円とし、伸び率を2.63%とする。

調整したのか。

**答** 医療分のみで調整した場合、所得の多い方に有利となり中間層の方の負担が大きくなるなどを検証した結果、3つの制度のバランスを考慮し調整をした。

**問** 今後の税率改定基本方針の取り扱いは。

**答** 本計画策定時の想定を超える医療費の伸びにより、現状にそぐわない計画となっている。できる限り早い段階で計画を見直したい。

### 一般会計補正予算

### 安心・安全な砂を

**説明** スマイルキッズパーク屋内砂場用のキネティクサンドを購入する。

**問** 価格が高いのではないか。

**答** スウエーデン製の特殊コーティングされた砂で、衛生的で、子どもの安心・安全のため、施設や砂の管理面からもメリットが大きいと考え決定した。

## 産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、一般会計補正予算（第2号）が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲現地調査 「工業団地候補地」

### 一般会計補正予算

#### 農業系廃棄物の移動費用を増額

#### 説明

農業系汚染廃棄物処理事業の補正増は、環境省が指定廃棄物と定めた稲わらや堆肥を、一時仮置きしていた場所が長屋地区の仮置き場となるため、仮置き場造成工事により支障をおよぼさない場所に移動するものである。

**問** 農業系汚染廃棄物の移動方法は。

**答** フレコンバッグに詰めて移動する。現在の仮置きも、遮水シートを敷いており、廃棄物を完全に回収し移動することができる。

#### 観光客を増やす取り組みを

#### 説明

コミュニティ助成事業の補正増は、市内に3つある太鼓台で保存会をつくり、提灯を700個作成し分配する事業に対する助成である。

**問** 太鼓台の整備は大変重要なことと考える。このほかに、観光客を呼び込むための施策は。

**答** 現在、緑の百景歩こう会やちよつと素顔のものとみやの旅など、市外から多くの方においでいただいている。その際に実施しているアンケート結果を基に、テーマをもった取り組みをしたい。

## 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例制定についてのほか4件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲現地調査 「本宮字万世地内用悪水路改良工事箇所」

#### 都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正

#### 延滞金の端数規定の追加理由は

#### 説明

地方税法の一部改正に基づき、地方税に係る延滞金、還付加算金の利率が引き下げられることに準じて改正するものである。

**問** 延滞金の端数に関する規定を追加した理由は。

**答** 国からの下水道事業受益者負担金の取り扱いに関する通知を参考に、地方税法に準じた形で改正するものであり、あわせて延滞金の端数についても定めることとした。

#### 一般会計補正予算

#### 市が水路を整備する理由は

#### 説明

本宮字万世地内の大型複合店舗開発事業に伴う排水路改良を実施するための工事請負費の補正である。

**問** 民間開発で、市が水路整備を施工する理由は。

**答** 当該水路は、開発施工者の排水路としては使用されないため開発の区域外となっており、開発施工者の整備義務はないが、今後の維持管理を考慮した結果、造成前に整備を実施したい。

## 東日本大震災対策特別委員会 今後も調査・検討を継続

5月21日開催の委員会では「仮置き場の状況」「除染の状況」「農産物のモニタリングの状況」「市民の健康調査の状況」について、市からの説明を受けました。

委員からは、「道路・側溝の除染は住宅除染の優先順位と同じ順番なのか」との質問があり、市からは、「側溝の除染は通学路優先である。実施の順番は白紙の状態ですが、後意見をいただきながら検討したい。まずは仮置き場の設置が必要であるため、候補地を選定し随時進める」との答弁がありました。

また、「以前の説明では仮置き場完成後に住宅除染と並行して通学路等の除染も進めると聞いていたが、考え方を確認したい」との質問があり、市からは、「和田・長屋地区の道路除染は現在設計委託中である。今後は住宅と道路の除染を一緒に発注するのがベストだと考えているため、仮置

き場を選定、造成し並行して行いたい」との答弁がありました。

市からの説明を受けた後に、今後の委員会運営について委員の意見を求めたところ、「現在住宅の除染は4分の1も進んでおらず議会が行った要望に対する回答もない状況であるため、継続して調査を行うべきである」との意見があり、全員異議なく調査を継続すべきであるとの結論に達しました。

委員会では、今後も本市の一日も早い復興に向けて調査・検討を行います。



▲現地調査「和田地区仮置き場」

## 議会活性化検討特別委員会 意見交換会の実施に向け検討

5月31日に委員会を開催し、議会報告会の実施に向けて、名称、開催形態、時期及び回数などの具体的な内容について検討しました。

委員からは、

● 目的をはっきりさせたうえで始めないと議会をアピールするだけで終わってしまう、本来の意味から外れてしまう。広く市民の考えや望んでいることを伺い、意見交換の場とするのが適当である。

● 名称は意見交換会がいいと思う。議会に関して意見交換をしたいと考えている方がいるのは事実である。

● 市民の方が参加しやすい場所や形態で行うのがよい。

● 全市民を対象に考えると、小学校区単位になるのではないかと。

等の意見が出されました。以上のことから

● 名称を意見交換会とする。

● 開催形態は小学校区ご

とに7箇所で開催する。● 開催時期と回数は平成25年度中に1回とする。ことで全委員の意見が一致しました。

また、今後の委員会運営について委員から意見を求めたところ、「意見交換会の開催を決定したところであり、継続して調査を行うべきである」との意見があり全員異議なく調査を継続すべきであるとの結論に達しました。

委員会では25年度中の意見交換会の実施に向けて、さらに検討を進めます。



▲委員会室での審査

# 上尾市・本宮市議会 合同研修会を実施



▲市政について講演する高松市長

5月8日・9日にかけて、本宮市を会場に、埼玉県上尾市議会議員との合同研修会を実施しました。

8日の研修では、まず、上尾市議会議員に、本市の復興の歩みをDVDでごらんいただきました。

続いて、高松市長を講師に「本宮市政について」と題し、講演が行われました。

高松市長からは、  
・工業都市として発展を遂げる本宮市の歴史  
・市長に就任し、まもなく発生した東日本大震災時の対応

・震災からの復興状況などについて説明を受けました。

その後、上尾市・本宮市の議員が合同で災害対策についての講義を受けました。

講師には、中央大学大学院公共政策研究科教授の幸田雅治先生を迎え、「災害時における議会活動について」と題し、講演いただきました。

講義では、東日本大震災の事例を元に発生直後の議会対応や活動実績、復興時における議会の役割等を学びました。

議員からは、  
・議員として、何をすべきか具体的に説明いただきよかった  
・災害はいつ、どこで、どのような被害を受けるかわからない。どのような災害にも対処できるように、減災対策の必要性を感じた。  
・宮城県議会を視察して勉強した方がよいのではないかなど、意見ができました。



▲講義を行う幸田雅治先生



▲上尾市のアッピー君と本宮市のまゆみちゃん

講義を通し、危機管理に対する意識の高まりや、議員活動のあり方を改めて考える機会となりました。

また、初日の締めくくりとして、意見交換会を行い、今後の研修テーマなど活発な意見の交換が行われました。



▲除染現場の視察を行う上尾市議会議員

9日には、上尾市議会議員の方々が市内の現地視察研修を行いました。

えぼかでは、内部被ばく検査を行うホールボディカウンターを見学し、その後、住宅除染の現場や和田地区の仮置き場を視察しました。

上尾市議会との合同研修を通して、本宮市議会議員からは、「今後も合同研修会を続けていきたい」などの意見が聞かれました。

両市議会議員同士の充実した交流を通じ、両市の友好関係の一翼を担うことができました。

## 議決結果一覧表

議案番号	議案名	審議結果
議案第54号	本宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第55号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第56号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第57号	本宮市諸収入金に対する督促及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第58号	本宮市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第59号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第60号	本宮市都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第61号	中学校コンピュータシステム機器購入契約について	原案可決確定
議案第62号	平成25年度本宮市一般会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第63号	平成25年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第64号	平成25年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第65号	平成25年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第66号	平成25年度本宮市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第67号	平成25年度本宮市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決確定
報告第2号	専決処分の報告について （専決第2号 和解及び損害賠償額の決定について）	—
報告第3号	平成24年度本宮市継続費繰越計算書について	—
報告第4号	平成24年度本宮市繰越明許費繰越計算書について	—
報告第5号	平成24年度本宮市事故繰越し繰越計算書について	—
報告第6号	平成24年度本宮市水道事業会計予算繰越計算書について	—
報告第7号	平成24年度安達地方土地開発公社決算報告について	—



## 本議会での討論

6月21日の本会議で、議案第56号と第62号の2つの議案に対し、反対および賛成の立場から討論がありましたので紹介します。

### 議案第56号

#### 本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

この議案は平成25年度国民健康保険税の税率改正を行うための議案です。

#### 反対討論

渡辺忠夫議員

・この改正により国保税は2・63%の税率引き上げとなるが、現在本市の国保税滞納額は多額になつており、税の納付が困難であるとの声もある。国保税の負担が重くなつてきているのは、国が国庫支出金を減らしてきたことにある。

国保を運営する市町村の財政難を解決するためには、国庫負担を増額し国保税を負担能力に応じて引き下げ、滞納を減らすことで解決するとの考えから賛成できない。

国分勝広議員

・今回の改正で一般会計から2億700万円を繰り出すことは、市民税総額の約88%を納付している社会保険加入者への生活基盤整備に使うべき財源が少なくなり、税の用途の公平さを欠く、不適切な支出であるため反対である。

#### 賛成討論

三瓶裕司議員

・本来、税率改定基本方針によれば5%程度の引き上げになるが、国保の被保険者が減少しており加入者の高齢化で医療費が増加するなど、国保税の負担が増えている。地域経済の停滞と低所得者層が増加していることを考慮した今回の税率引き上げは妥当であり、今回の改正は必要である。

渡辺秀雄議員

・今回の税率改正では昨年と比較すると応益割の減額が多くなり、所得割においてもトータルでは0・7%減額となつている。

市民皆保険の考えからすると、この改正は妥当であると考える。

### 議案第62号

#### 平成25年度本宮市一般会計補正予算(第2号)

歳出の主な補正内容は集会所の建設、改修に対する助成や、国民健康保険特別会計への繰出金、道路等の除染用車両の購入費用などを計上したものです。

#### 反対討論

国分勝広議員

・税収や交付税の先行きが不透明な中、国保特別会計へ不用意な繰出をすべきではない。

#### 賛成討論

円谷長作議員

・この補正予算には市民の安心・安全に係る多くの予算が計上されている。また、年金生活者や低所得者など被保険者の負担軽減を考慮し、一般会計から国保特別会計へ2億700万円の繰出しはやむをえないと判断する。

## 6月定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は8ページのとおり  
全会一致で可決されています。

議案名等	みらい創和会										新風会				共	無所属							一	
	川名	国分	渡辺	円谷	佐々木	渡辺	次藤	遠藤	川名	山本	三瓶	菅野	國分	渡辺	菊田	橋本	後藤	根本	渡辺	伊藤	矢島	国分	作田	
議案第56号 本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号 平成25年度本宮市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 議長(作田 博)は採決には加わらない ※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

# 市政を

# 問

# う

## 14人の議員が登場



将来に希望をもてる雇用形態へ

**問** 本市の保育士は正職員の2倍強が臨時職員で、雇用年数は5年である。待遇改善と将来に希望をもてる雇用形態として、広域行政の関わりと社会福祉法人など保育士会社設立や正職員化、勤続年数に応じた昇給を  
と考えるが。



**問** 保育士が希望を持てる雇用形態は法的な壁が大きい

**答** 臨時職員の約半数は預かり保育や特別保育に当たっている。本市の待遇が他市と比べて劣っている状況は見受けられない。  
雇用形態の改善は以前、NPO法人等の人材派遣を検討したが、法的な壁が大きい。

**問** 育児休業中の保育所入所継続を公平性の観点からご理解を願う

**答** 緊急に保育所に入所する場合あり、育児休業中の方の入所は公平性の観点から難しい。定数に余裕があれば個別に相談をいただく状況だが、基本は3か月である。

次藤 栄  
議員

### その他の質問

- ・子育て支援として保育料の無料化の考えは
- ・風疹予防接種費用の補助と正確な情報提供を



人口増へ市営住宅の新設は



## 問 本市のエネルギー政策は

### 答 導入に向けた調査を進める

菊田広嗣  
議員

**問** 本市が目目している再生可能エネルギーは何か。また、メガソーラー・バイオマス燃料についての見解は。

**答** まずは太陽光発電を普及させる事を考えている。メガソーラーは企業等の問い合わせもあり、調整しながら進めている。バイオマス燃料は状況を見定めながら対応を研究したい。

**問** 人口増のために市営住宅建設を総合的に市営住宅を選定したい

**答** ①今後、本市として必要な市営住宅の戸数等を検討していきたい。②入居者のニーズ、駅に近い利便性や地域性、安全性や快適性などを考慮し、総合的な市営住宅の選定をしていきたい。

**問** ①新たな市営住宅を造り住んでいただくことが人口を増やす上で大事なことです。市営住宅の計画は。

**答** ②若い世代が住みやすいように、駅から離れた一戸建てより、駅近くにマンションのような形態の方がいいと考えるが。



## 問 行政財産使用条例の例外適用は

### 答 考え直す必要があるかと思う

渡辺秀雄  
議員

**問** 4月から条例が改正され、自動販売機の設置に月額8千円の使用料を納付いただくことになったが、従前の使用料の箇所があると聞くが理由は。合併から6年経過後に条例改正を行って、地区等による例外適用はおかしいと考えるが。

**答** 今までの契約のあり方や今後の採算ペーシなどを踏まえ、自販機が撤去されることで市民サービス低下のおそれがあると判断し従来の金額で契約した。合併以前の経過等も参酌するが、新たに考え直す必要もあるかと思う。

## 問 定住人口の増加対策は

### 答 人口を増やす施策を考えていく

**問** 人口減少の状況下では、地域の活性化や進展を望むことは困難である。微減の状態にある本市の人口も、施策が他自治体より劣れば人は移り住まなくなり、現状維持も難しい。今後人口増加策をどのように展開しようとしているのか。

**答** 住宅の供給、宅地造成を考える時期に来ている。

市の子育てサービス等は劣っておらず、他の自治体で子育て支援の施策を実施しているが人口は増加していない。本市は人口増加の可能性があり、その施策を考えていく。

### その他の質問

- ・ 通学路の危険箇所の把握は
- ・ 市役所駐車場用地の確保は



設置使用料の統一を

### その他の質問

- ・ 行政へ市民の意見を取り込むための方策は



## 問 市民の「安心・安全」の対策は

### 答 周知をし把握して頂くのが大事

後藤省一  
議員

**問** 市の地域防災計画には避難、救護体制等が記載されているが市民に十分認識されていないと思う。市民にわかりやすく周知する方法やその体制はどのように進める考えか。

**答** 避難マニュアル等とは把握していただくことは大事。本年度、策定を予定している地域防災計画に合わせてマニュアルを作成し、最新の危険箇所を全戸に配布する。災害発生が予測される場合は、防災行政無線等で周知を考えている。

**問** 工業団地候補地の説明会は地元の了解を得ながら進める

**問** 本宮地区に2か所、白沢地区に3か所の工業団地予定地があるが、現地の方々に説明会を進めているのか。また、本年度予算に計上している測量費1か所分はどの場所か。

**答** 本宮地区の荒井北ノ内地区と関下地区で説明会を行った。白沢地区3か所は議会終了後に説明会を行いたい。測量は荒井北ノ内地区を進めたいと考えている。

### その他の質問

- ・定住者が見込める企業誘致について
- ・キャラクター「まゆみちゃん」について



将来に向けた工業団地整備を



ガラスバッジを装着する子どもたち

**問** ガラスバッジ測定推移グラフにおいて、平成23年9月から24年2月までの1年半の被ばく線量の平均値が0.42から0.20マイクロシーベルトと半分以下まで減少しているが、ここまで減少した最大の要因は何か。

**答** ガラスバッジは、3か月の測定後に結果をまとめ、その都度アドバイザーの意見を伺っている。減少要因はセシウム134の半減期が2年であること、除染が進んで空間線量が低下したこと、理由ではないかと意見をいただいた。



## 問 外部被ばく量減少の最大の要因はセシウムの半減期と除染の進捗

橋本善壽  
議員

**問** 除染状況の監視体制は現場を巡回し施工状況を確認

**問** 今年1月の田村市に続き、5月にも福島市松川地区の除染で作業員の指摘により手抜き作業が発覚した。本市の除染では確実に実施されていると思うが、市の監視体制はどのようになっているのか。

**答** 支援機構からの派遣職員が現場を巡回し、施工状況の確認や必要に応じた指導等を行っている。また、除染業者、従事者を対象とした除染電離則の遵守について工程会議を組合と定期的に関し確認している。

### その他の質問

- ・市道落合5号線の整備計画は
- ・通学路及び側溝の除染計画は



避難者受け入れの災害公営住宅建設を



### 問 人口減社会での市の現状と対策は

答 除染で安全・安心を確保する

根本七太  
議員

**問** 人口白書では、世界人口が今世紀末に100億人を超えると予想しているが日本の人口は30年後には1億人を割ると言われている。本県の人口も200万人を下回っているが、本市の合併後の動向と対策は。

**答** 本市の人口は平成21年まではほぼ横ばい。発災後は減少が続いたが現在は増加基調である。まずは除染を進め、安全・安心を確保する必要。また、地域の活性化や子育て環境等を含めたまちづくりを実施しアピールしていきたい。

**問** 避難者を受け入れて自治体の災害公営住宅等整備促進のため、復興庁はコミュニティ復活交付金を創設した。県はいわき市、郡山市、津若松市に、二本松市や大玉村も建設に向け進んでいる。当市も積極的な取り組みが必要では。

**答** 浪江町長から口頭で本市に災害公営住宅を建設する際の適切な用地の要望があり、しっかりと対応すると伝えた。避難されるかぎり、本市に避ける方々を今後のことと考えて進めていきたい。

### その他の質問

- ・ 荒池ふれあい広場建設について
- ・ 若者が定住する街動きの見える未来社会は



### 問 しらさわ特産物直売所の今後は

答 今後も一緒に活動していく

菅野健治  
議員

**問** ①今後のあり方について市はどのような認識を持っているか。②地域雇用再生創出モデル事業の補助はいつまでか。その後のあり方は。③道の駅構想についての市の見解は。

**答** ①今後も首都圏販売等一緒に活動したい。②平成26年度までの補助。終了後は市から同等の費用負担は難しい。③登録要件や自治体からの財政的な支援の問題もあり難しい。

**問** ①災害公営住宅を誘致する考えは。②恵向応急仮設住宅を災害公営住宅にする考えは。また、恵向公園周辺地域に誘致する考えは。

**答** ①受け入れの用意がある。浪江町長から住宅建設の協力依頼があった。②仮設住宅は災害公営住宅にはならない。避難者には復旧の要望は復興

### その他の質問

- ・ 市内に住む避難されている方への対応は



しらさわ特産物直売所（産直さわちゃん）



防災訓練で防災意識の向上を

**問** 平成19年本宮市の誕生により計画された地域防災計画の見直しの時期と視点は。川河川敷で阿武隈川流域23市町村が参加して行われた水防演習への参加体制と、市民参加の訓練のあり方は。

**答** 見直しは本年度中に完成させたい。3・11の大震災やゲリラ豪雨、竜巻なども含め、見直しを進める。水防演習は本市消防団が小隊を組み、20名が参加。防災訓練は市民に協力いただき、本市独自に9月22日に実施したい。

**問** 平成23年度から25年度まで3年にかけて、予算総額800万円で策定している農業振興地域整備計画の進捗状況と、この計画の特徴は何か。工業団地を新たに計画しているが整合性は。

**答** 年度内の策定を目指し、本宮・白沢地区それぞれの特性を生かし、市全体でどういう位置付けをしていくか整理している。工業団地と農業振興地域の調整を図りながら計画する必要がある。



**問** 市民の安全・安心対策は  
**答** 防災計画の大幅な見直しを進める

円谷長作  
議員



**問** ピロリ菌検査で胃ガンの撲滅を  
**答** 国の動向を見ながら検討していく

川名順子  
議員

**問** 今年からピロリ菌の除菌に健康保険が適用された。WHOは、ピロリ菌が発ガン物質であることを認め、除菌によって胃ガンの発生を抑制できる事も明らかになった。ピロリ菌感染を発見する為に特定検診の中で実施すべきでは。

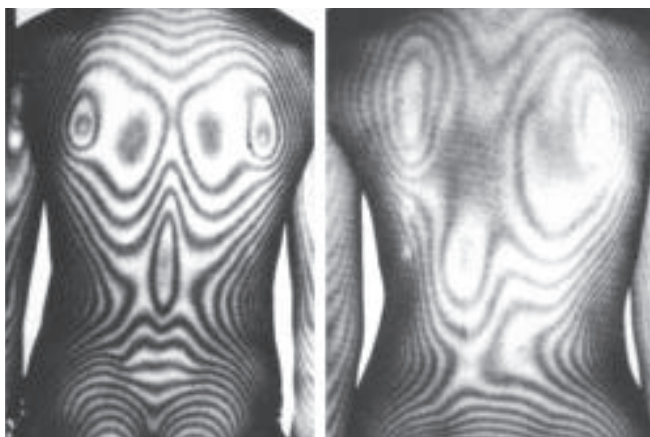
**答** ピロリ菌の検査は、既に群馬県等で行っているとの情報を得ている。しかし、ガン検診の厚生労働省推奨の中では、透視となっている。今後、国の動向を見ながら、検査方法を検討したい。

**問** 脊柱側弯症対策にモアレ検査を  
**答** 現状の検査方法で効果がある

**問** 脊柱側弯症は背骨がねじ曲がる病気で女性に多い。重症になると、肺を圧迫し、呼吸障害が起きたり、腰部の神経を圧迫し歩行困難になる。早期発見・早期治療の為に、小中学校で、モアレ検査の導入をすべきでは。

その他の質問

- ・20代から30代の空白世代に風疹予防接種を
- ・ロタワクチンを公費助成すべき



モアレ検査写真（左：正常な場合、右：側弯症）

その他の質問

- ・復興の集いの事業内容と今後の運営について
- ・4号線万世・五百川地下歩道の補修について



様々な奉仕活動へ積極的な援助を



## 問 ボランティア団体の把握と援助は

答 今後も各団体の活動は不可欠

矢島義謙  
議員

**問** 行政の手の届かないところで、日赤奉仕団員や民生児童委員等、様々なボランティア団体が崇高な理念のもとに奉仕活動を行っている。市では、これらの団体活動をどのように理解、把握し、援助を行っているのか。

**答** 赤十字奉仕団や民生児童委員、保護司の方が上位機関のもと活動している。さらに社協の40団体で構成するボランティア連絡協議会がある。今後も地域組織と連携を強化し、市民と行政が一体となったまちづくりを推進する。

**問** 防災対策の見直しに女性の視点を女性の幅広い意見は必要である

**問** 東日本大震災発生から2年3か月が経過した中で、防災対策の見直しが求められている。そこで、女性の視点から防災対策を検討する委員会の設置が必要と思われるが、考えは。

**答** 女性の意見を十分に反映させて計画を作成したい。現状では委員会設置の考えはないが、女性の幅広い意見を取り入れることは必要だと考えている。



## 問 安達疏水土地改良区への支援策は

答 支援方法を協議する

渡辺善元  
議員

**問** ①今年50年ぶりの水不足となっているが安達疏水土地改良区への支援策は。②市内で増加している鳥獣被害対策への取り組みは。

**答** ①白沢地区の農業振興に大きく寄与していただいている。施設の老朽化や地理的な問題もあり、支援方法を協議したい。②管内市町村とJAで年2、3回の対策会議を実施。電気柵や箱わなで防御、捕獲を行っている。

**問** 市民生活の安全・安心対策は早い段階で対応できるように進める

**答** ①通学路を優先し効果的に整備したい。今後計画の見直し等、地域の希望する形で早い段階の対応を進めたい。②道路除染は仮置き場完成後、市道や県道含め大字単位で実施したい。現在、和田・長屋地区について県と協議中である。

### その他の質問

- ・地場産品の振興を図る考えは
- ・主要道路の歩道設置の考えは



農業に欠かせない水の安定供給へ支援は

### その他の質問

- ・郷土愛、祖国愛を育む教育のあり方について
- ・高齢者講座の充実を図るべきでは



水源の確保は柔軟に対応を

**問** 工業用水は水道水の5分の1のコストで生産できる。水を考える時、水道水と農業、工業用水を含めた2本立ての生産を検討すべきと考える。企業誘致や白沢地区に豊かな水を供給するため、東禅寺浄水場の水源確保へ市の見解は。



**問** 東禅寺浄水場の水源確保は  
**答** 将来の需要を考えた水道水源の確保は大変重要である。現在少子高齢化や節水意識の向上により使用水量は伸び悩んでいるが市の将来の水道水を考えると、需要をきちんと見極めた上で、柔軟に対応していくことが重要である。

**問** 厚労省はワクチン接種後の副反応は、注射針を刺す事が影響している可能性があるが中止する程の懸念はないと表明。その後一変、接種への積極的な呼び掛けを一時中断するよう、全国自治体に勧告した。今後の対策と継続の考えは。

**問** 子宮頸がん予防接種対策と継続は  
**答** 保護者への説明と早急対応を要望

**問** 厚労省の積極的な勧奨を受け、医療機関並びに接種勧奨をした保護者に対し、状況の説明を本日付で通知した。今後、現場の状況や早急な接種の対応について厚労省に要望する。

山本 勤  
議員

その他の質問

- ・避難指定施設えぽかについて
- ・市有地の有効利用と利活用について



**問** 市民をあげての賠償請求は  
**答** 現在賠償請求は考えていない

渡辺忠夫  
議員

**問** 福島県民が被った被害の完全賠償が求められている。東電の賠償は精神的損害に8万円、追加費用で4万円の一律支払いで終了とした。被った精神的損害を含む被害に、市民あげて賠償請求すべきと思うが考えは。

**答** 精神的な被害に対する賠償請求はそれぞれ、事情や考え方もあり、一本化には至っていないのが現状である。市が市民の代理人となつて損害賠償請求をすることは、現在は考えていない。

**問** 遊休地の解消対策は  
**答** 地区でどう保全していくかが課題

**問** 遊休地（耕作放棄地）が目立つ状況にある。特に震災以降、作付けや耕作をしない場所も見受けられる。農業の振興という面からも放置できない問題だと思つが、遊休地の現状や、それに対する対策と課題は。

**答** 地形上の問題や担い手の減少、不整形で機械耕作が困難等の要因が考えられるが、地域的な対応をしないと、今後増加が懸念される。現在までに遊休農地対策として、反当たり4万円程度の補助を行い農地を戻す取り組みを行った。

その他の質問

- ・除染について



農業の振興のため遊休地対策を





市役所屋上に設置した太陽光パネル



### 問 地方交付税の一本算定の影響は

答 一本算定を見込んだ計画である

三瓶裕司  
議員

**問** 合併して平成19年から27年まで合併算定替による増加額が地方交付税に盛り込まれていく。平成28年度以降は一本算定により減額となるのか。また、財政健全化計画への影響は。

**答** 完全に一本算定した場合、5億円から6億円程度の減額が見込まれる。それが段階的に5年間で9割、7割、5割、3割、1割と各年度減少していく。財政健全化計画は一本算定も含めた計画となっている。

**問** 太陽光発電が注目され、原発事故以降は急激に増えているが、遊休地や休耕地を利用して大規模なメガソーラーを設置する場合、土地の賃貸契約の法的な手続や賃貸される土地の課税対応は。

**答** 農地は県と国は農振を除外しての設置は不可との見解である。固定資産税は、山林や原野を利用し設置する場合、造成していない土地は15%、整備されている土地は近傍宅地50%で算定する方向で検討中である。

### その他の質問

- ・健全化指数の目標について
- ・地域エネルギービジョンの計画見直しについて

## 第3回臨時会

### 岩根小学校体育館 関連の予算を計上へ

5月21日に、第3回臨時会が開かれ、一般会計補正予算（第1号）や専決処分の承認について、五百川小学校西校舎耐震補強改修（建築主体）工事請負契約締結についてなど4議案を可決・承認しました。

歳入歳出予算のそれぞれに183万7千円を増額し、一般会計総額を188億7,483万7千円としました。歳出の主な補正内容は岩根小学校体育館建設工事実施設計に当たり取得した用地のボーリング調査を行うための委託料を計上したものです。歳入の補正内容は岩根小学校のボーリング調査の実施にともない教育施設等整備事業基金からの繰入金を計上したものです。

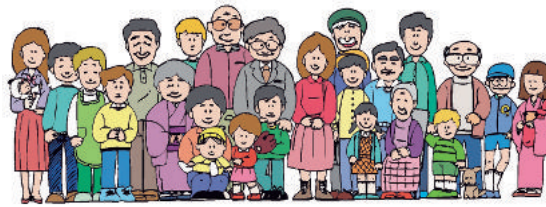


▲耐震補強工事を行う五百川小学校

### 議会を傍聴してみませんか

暮らしやまちづくりに関する様々な事柄を、市民の皆さんに代わって決定し実行するのが、市議会と市長はお互いに討議し、協調を図りながらより良い市政のために努力しています。また、市役所3階の議事堂で開かれる本会議には、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と、必要に応じて招集される臨時会があります。議会の日程は、市の防災行政無線とホームページでお知らせしています。傍聴は当日、住所と名前を記入するだけで簡単にできますので、ぜひおいでください。また、市役所の市民ホール、白沢総合支所ラウンジのテレビ中継を放送していただきますのでぜひご覧ください。

# 声



6月定例会を傍聴された方は33人でした。今回はその中から武田喜栄さん（糠沢字五味内）に傍聴の感想をお聞きしました。

## 議会傍聴感想

いつになっても傍聴席につくと緊張します。私は市政に対し、数多くの希望があり傍聴席に着きました。しかし、傍聴者が少ないように感じました。市民の皆様も傍聴に出かける時間を作ってみたらよいと思います。

本宮市は、新幹線が停車する郡山駅に近く、高速道路や国道4号線があり、交通の利便性に長けた市だと思います。また、風力発電の適地など数多くあると思います。

今日、本宮市は「へそのまち」と言っていますが、前々町長のころは、輝かしい町と呼ばれていました。

一般質問の際は、議員は質問台に立ち、30分にまとめることはとても大変だろうと思いますが、国会のように荒々しい言葉を使わなくとも、市政提言のために元気に進めて欲しいです。



武田喜栄さん



▲本宮市議会の「議会広報特別委員会」

### ◇議会広報特別委員会◇

委員長	国分 勝広
副委員長	後藤 省一
	菊田 広嗣
	菅野 健治
	橋本 善壽
	三瓶 裕司
	山本 勤
	國分 義之

次回**9月定例議会**は**9月3日**に開催予定です。  
**請願・陳情**の締め切りは**8月22日**です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会  
 で決定します。  
 問い合わせ TEL 33-1111(内線 302)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

今年、「空つゆ」かと思われ  
 ましたが、ようやく梅雨前線が  
 現れ、農家にとっては恵みの雨  
 となりました。しかし、局地的  
 な大雨により各地で被害が発生  
 しております。大雨に対する日  
 頃からの備えが必要なることを改  
 めて痛感いたします。

6月議会は国保議会とも言わ  
 れております。平成25年度、国  
 保税の本算定に伴い一般会計よ  
 り国保会計へ2億700万円の  
 財政支援を行うことが決められ  
 ました。審議の中で活発な議論  
 が交わされましたが、本市の財  
 政も厳しいところではあります  
 が、国民皆保険制度を維持する  
 ための財政支援も必要であると  
 考えます。市民の皆様のご理  
 解をお願いいたします。

(國分)

